

ジェンダー格差, EBPM, エンパワメント



『ジェンダー格差／牧野百恵／中央公論新社／2023年』

著者紹介	アジア経済研究所 開発研究センター 経済モデル研究グループ長代理
本の内容	<p>我々の生きるこの世界には、政治・経済・教育等の様々な分野において、男女間の格差が存在します。本書が扱う、政治家や企業経営者に占める割合の男女格差、男女間の所得格差、STEM分野への進出率の男女格差等は、よく知られた例です。</p> <p>近年、その格差を是正してジェンダー平等を実現することが重要な政策課題として位置づけられています。にもかかわらず、「日本の政策には、こういった政策がよいだろうという感覚で決まるものが少なく、政策の効果検証も曖昧なまま」(167頁)と、本書は手厳しい批判を加えています。そのような問題意識をもとに本書は、ジェンダー格差の発生原因を明らかにすること、そして、ある政策がジェンダー格差を解消する効果を真に有するものかどうかを、エビデンス、すなわち「統計学を使って因果関係を厳密に示した研究結果」(はじめに i 頁)に基づいて評価することの重要性を、ジェンダー格差に関する様々な事例・研究を紹介しつつ説いています。</p>
こんな人に読んでほしい	エビデンスに基づいてジェンダー格差という問題を解明することに興味関心のある方に
おすすめコメント	ジェンダー格差の是正に肯定的な方も否定的な方も、立場を超えて、エビデンスに基づく政策立案(Evidence Based Policy Making: EBPM)に目を向けてみませんか？

配置場所は

[こちら](#)→



教育推進センター／西條 潤

